

保険の種類と仕組み

ひとくちに保険といっても、生命保険、医療保険、がん保険、学資保険、個人年金、損害保険など種類はさまざまです。保険のプランを考えるうえでは、どんな不安にどんな備えができるのか、まずは全容とその仕組みを知っておくことが大切です。

日常生活にある様々な不安

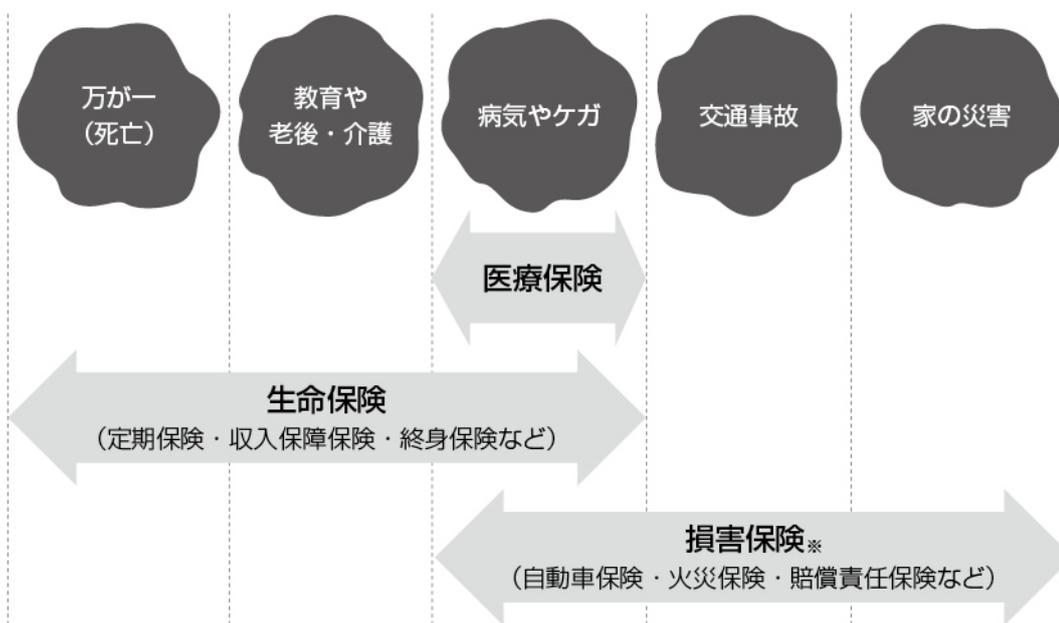
生命保険をはじめ「保険」は日常生活のさまざまな不安やリスクから起こるお金の問題（経済的な負担）に備える手段のひとつだとお話しました。ここでは、どんな不安やリスクに備えることができるのか、それぞれの保険の目的と役割についてみていきましょう。

私たちの日常生活には、病気やケガが万が一のこと（死亡）、子どもの教育費、老後や介護、さらには交通事故や家の災害まで、さまざまな不安やリスクがあります。

保険には、大きく分けると、生命保険会社が取り扱い、ヒトに関係するお金の問題に備えるために、「生死」についての保障をする「生命保険」と、損害保険会社が取り扱い、主にモノに対する不安から起こるお金の問題に備えるために、「損害」について保障をする「損害保険」があります。

さらに、生命保険、損害保険のいずれにも属さない「医療」の保障をする「医療保険」があります。

日常生活にあるさまざまな不安



※損害保険のなかでも、病気やケガ、介護など人の不安に対する保障もあります。